

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里作成日：令和 3 年 11 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心に長く勤める職員が定着し、馴染みの関係の中で安定した介護サービスを提供しているが、5年先、10年先を考えて、次のリーダーとなる人材の育成に取り組んでいく。	職員一人ひとりの目標を立て、定期的に振り返る機会を設け、管理者が評価を行うことで個人の質の向上に取り組み、ホーム全体の質の向上に繋げていく。また、少しずつ若手に仕事を任せていくことで責任感や全体を見通す力を育てていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を行い、昼夜想定で実施しているが、職員全員が、非常時に冷静に行動出来るかが不安である為、訓練を頻繁に行える体制を整え、職員個々の意識と技術を高めていく。また、消防署が近くにある事で、職員の安心感が気のゆるみに繋がらないように工夫していく。	利用者を巻き込まずに、職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで繰り返し訓練し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。